

# 小中学校のトイレにナプキンの無償配備を！

「生理の貧困」を解消しよう

新型コロナウイルスの感染が拡大するに伴い、貧困問題が深刻化していく中で、イギリスやフランスでは、

女性の生理用品が無償化されています。貧困に陥った親にナプキンを買ってもらえなくて、生理期間中に学校を休む子がいるからです。

奥野りん子は、教育委員会に対して、先進市の取り組みを紹介すると共に、日野市でも無償で配備するよう求めました。日野市は、東京都から臨時にもらい受けた分を、数校に配備し始めていますが、「全校に配備する事」と「都からの支給待ちではなく、市の予算で確保する事」を要望。困っている事を誰にも知られる事なく利用できる事が大事です。



写真は先進市の例。左側の二つの写真は「昼用」「夜用」「持ち帰り用の袋」が収納された棚を設置した例。右下は箱を置くタイプ。日野市はこちらを踏襲しています。

SDGsとは？



持続可能な社会を目指して、目標年度を定めて課題解決に取り組む国連主導の世界的な運動



## 日野市らしいSDGsの取り組みを！

プラスチックは、劣化して壊れても、分解せずに、いつまでも環境中に残ります。細菌やウイルスレベルにまで細かな粒子になった今、大気中を漂い、海中にも溜まっています。このレベルになると、血液中に取り込まれて、体内に蓄積します。「胎盤に貯まりやすい」「母乳の混入量に比例して子どもの知能が低下する」という研究結果を、NHKが特集番組で報道しました。日野市として、市民や児童生徒が地球環境についてより深く学べる機会を提供するよう要望しました。

障がい者グループホームを  
貧困ビジネスから守れ！

障がい者総合支援法の制定により、障がい者施設の運営に、社団法人やNPO法人が参入できるようにになりました。

最近、「施設側が入所者の小遣いを懐に入れてしまった」という相談が入りました。古いアパートを活用するためにグループホームに参入した不動産業者とトラブルになり、「ここが嫌なら契約の解除を！」と迫られた利用者からの相談も寄せられています。

選択の幅が広がった一方で、法改正により多発するトラブルに對しては、日野市がきちんと仲裁に入り、都にも監督・監査を求めよう要請しました。

### 【その他・関連要求】

- 遺伝子組み換え食品・除草剤の禁止
- LINEを活用した低所得者・孤独対策
- 食料循環システムの構築
- 市立病院で無料低額診療の実施